

船舶事故調査報告書

令和元年7月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	平成30年12月2日 07時45分ごろ
発生場所	香川県坂出市与島北北西方沖 岩黒島橋橋梁灯（R1灯）から真方位000° 100m付近 （概位 北緯34° 24.1′ 東経133° 48.6′）
事故の概要	プレジャーボートKENKIは、航走波を乗り越えた際、外板に亀裂を生じ、浸水した。
事故調査の経過	平成30年12月27日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート KENKI、2.2トン
船舶番号、船舶所有者等	290-44828岡山、株式会社千紀
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	左舷船首部外板に亀裂
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約5m/s、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 高潮時
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人等4人を乗せ、約25ノット（kn）の速力（対地速力、以下同じ。）で東南東進中、船長が、左舷船首方から寄せる他船の航走波を認めたものの、危険はないと思い、速力を保持して同波を乗り越えた際、大きな衝撃を感じるとともに、左舷船首部外板に亀裂を生じて船室内に大量の海水が浸入した。 本船の乗船者は、全員が救命胴衣を着用していた。
分析	本船は、約25knの速力で東南東進中、船長が、左舷船首方から寄せる他船の航走波を認めたものの、危険はないと思い、速力を保持して同波を乗り越えたことから、船体が波にたたかれ、左舷船首部外板に亀裂を生じて船内に浸水したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、約25knの速力で東南東進中、船長が、左舷船首方から寄せる他船の航走波を認めたものの、危険はないと思い、速力を保持して同波を乗り越えたため、船体が波にたたかれ、左舷船首部外板に亀裂を生じて船内に浸水したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・他船の航走波が寄せて来た際は、減速するなどして船体への衝撃を軽減する措置をとること。